

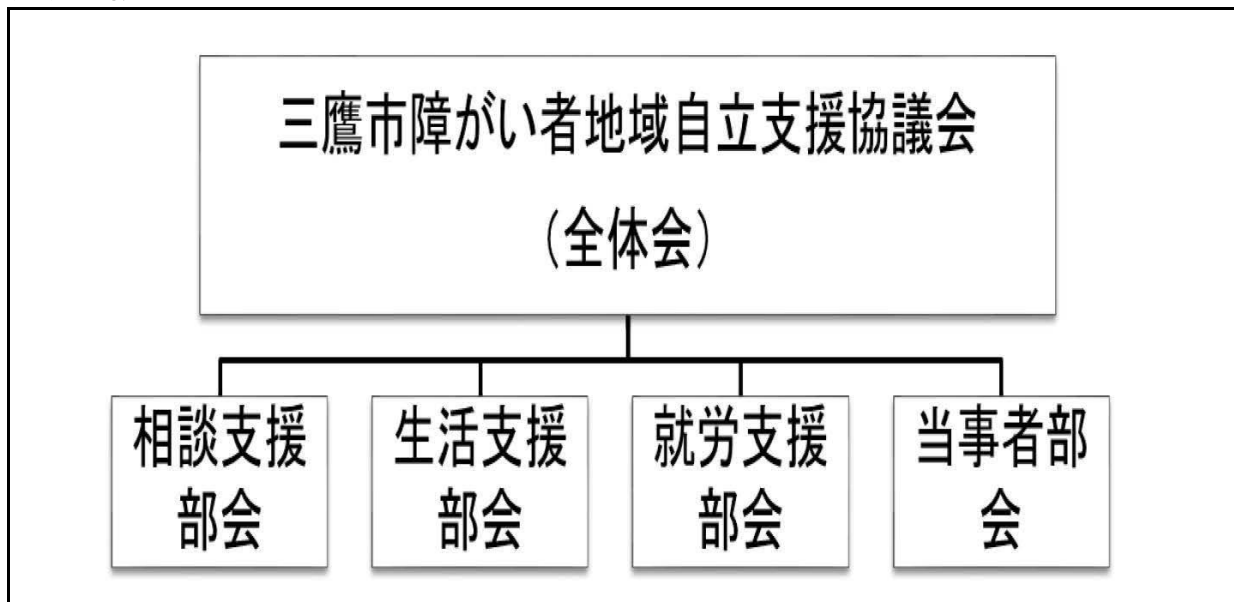
三鷹市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 三鷹市障がい者地域自立支援協議会

(2) ホームページURL https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/095/095559.html

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
1		堀 洋一郎	公募委員	地域住民		2年
2		福原 理絵	身体障がい当事者（視覚）	障害当事者（ピアサポーター含む）		5年
3		高橋 みゆき	身体障がい当事者（聴覚）	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
4		南雲 潤	身体障がい当事者（肢体不自由）	障害当事者（ピアサポーター含む）		1年
5		平松 百花	知的障がい当事者	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
6		赤岡 かおる	精神障がい当事者	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
7		中野 弘子	三鷹市心身障害者（児）親の会	家族・関係団体		5年
8		土屋 秀雄	精神障がい者家族会 あおき会	家族・関係団体		5年
9		吉田 純子	一般社団法人 発達障がいファミリーサポートMarble	家族・関係団体		2年
10	副会長	新津 健朗	知的障がい者サービス事業者 社会福祉法人 にじの会	障害福祉サービス等事業者		11年
11		大野 道子	精神障がい者サービス事業者 社会福祉法人 巣立ち会	障害福祉サービス等事業者		8年
12		中野 昭精	グループホーム事業者 社会福祉法人 あおぞら会	障害福祉サービス等事業者		2年
13		瀧澤 勤	地域活動支援センター まちかど 特定非営利活動法人 みたか街かど自立センター	障害福祉サービス等事業者		5年
14	副会長	岡田 敏弘	障がい者自立支援センター ゆー・あい 社会福祉法人 三鷹授恵会	相談支援事業者		6年
15		加藤 亮一	一時保護事業者 特定非営利活動法人 三鷹はなの会	障害福祉サービス等事業者		8年
16		豊田 未知	放課後等デイサービス事業者 TEENS三鷹	障害福祉サービス等事業者		2年
17		海老原 恵理子	三鷹市障がい者就労支援センターかけはし 特定非営利活動法人 障がい者ワーククラブみたか	雇用関係機関		5年
18		鶴田 明子	相談支援事業者 合同会社じゅうと	相談支援事業者		5年
19		工藤 勇太	府中けやきの森学園	教育関係機関		5年
20		石渡 理之	三鷹公共職業安定所	雇用関係機関		2年
21		渡辺 雅令	三鷹市医師会	医療関係者		11年
22		渡邊 幸治	三鷹市商工会	企業		5年
23		上野 たか子	三鷹市民生・児童委員協議会	民生委員・児童委員		2年
24		高橋 久実子	社会福祉法人 三鷹市社会福祉協議会	社会福祉協議会		5年
25		春日 里江	東京都多摩府中保健所	保健所		3年
26	会長	片桐 朝美	杏林大学 保健学部 健康福祉学科	学識経験者		2年

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・部会名	全体会	当事者部会	就労支援部会	相談支援部会	生活支援部会
学識経験者	1				1
医療関係者	1				1
保健所	1			1	
教育関係機関	1		1		
雇用関係機関	2		2		
企業	1		1		
障害当事者（ピアサポーター含む）	5	11			
家族・関係団体	3				3
身体・知的障害者相談員	0				
相談支援事業者	2	1		2	
障害福祉サービス等事業者	6	2	1	1	5
社会福祉協議会	1			1	
法曹関係者	0				
民生委員・児童委員	1				1
地域住民	1		1		
行政職員（区市町村）	0				
行政職員（都）	0				
その他	0				
計	26	14	6	5	11

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

ライフステージで切れ目なく相談支援できるよう、相談支援部会にて関連部署や関係機関との情報交換などを行った。部会での活動内容や地域課題等を全体会で共有し、協議する場を設けた。

② 就労支援に関すること。

就労支援部会にて、市内の就労系の障がい福祉サービス事業所に短時間就労に関するアンケート等を実施した。部会での活動内容や地域課題等を全体会で共有し、協議する場を設けた。

① 障害福祉計画等に関すること。

令和7年度に実施する障がい者等の生活と福祉実態調査に向けて、対象者や調査項目等についての意見を求めた。全体会では協議せず、集約した意見を基に案を作成し、次回の全体会にて検討案を報告した。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

行政や各委員からの情報発信、情報共有の場としても活用している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

各委員同士で分野を超えたネットワークとなっている。また、専門部会では委員以外の参加も可能としているため、さらに様々な分野の方とのつながりができている。

⑥ 課題解決に向けての検討

各専門部会で課題解決に向けた事例検討や協議等を行った。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

令和7年度に実施する障がい者等の生活と福祉実態調査に向けて、対象者や調査項目等についての意見を求めた。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

⑩ 就労支援

就労支援部会にて、短時間雇用のニーズを把握するためにアンケート調査の実施や、情報共有を行った。

⑫ ライフステージを通じた支援

ライフステージで切れ目なく相談支援できるよう、相談支援部会にて子どもや高齢者の関連部署や関係機関との情報交換などを行った。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

⑦ その他（地域課題を共有し、その解決に向けてグループワークを通じた協議を行った。）

地域課題の抽出及びその解決を図る機能を促進するため、部会ごとに全体会で地域課題等を共有し、グループワークを通じて協議に向けて取り組んだ。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

① 当事者部会を設置している。（予定含む。）

当事者部会や全体会に障がい当事者が参加し、意見を発信・共有できる場を設けている。

(3) ICTの活用（複数回答）

① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

協議会等の会議において、対面での参加が難しい方がいた場合は、ハイブリット形式で対応している。

② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

発話者の設定やAI音声認識による文字起こしが可能なツールを活用して会議録を作成した。

5 地域移行・地域生活支援の取組

(1) 施設入所者・長期在院者等の実態把握（複数回答）

② 施設入所者や長期在院者等に対し、アンケート等を実施

障がい者施設に入所中の障がい者や医療機関に長期（1年以上）入院中の精神障がい者に対して、郵送で調査票を送付した。

(2) 利用しているサービス等（複数回答）

④ 施設や病院からの働きかけ